

テーマ「十八歳選挙を経験して」

荏田工業高等学校 南出 陸

今年から選挙権が十八歳以上になり、私にも選挙権が与えられました。正直なところ、まだ、未成年の私は、選挙権を持っていても政治に関わるということに実感が持てずに、興味・関心もそこまでありませんでした。知っている政治家の名前も20人もいませんでした。

そこで、日本の政治をよく理解できていなかった私は、まず、テレビのニュースを見ることから始めました。スポーツニュースは、毎日見ていたので、一緒に政治についてのニュースを気をつけて見るようにしました。また、政党の名前やその党がどのようなマニフェストを掲げているのかを調べました。このようなことについて、これまで調べてこなかったもので、頭がパンクしてしまいそうになりました。比例代表と小選挙区についても学校で習っていて、言葉としては知ってはいましたが、どのようなものか知りませんでした。自分で調べることで、少しずつ理解できるようになっていきました。

そして、選挙当日は、両親と一緒に投票所に行きました。投票所では、葉書「投票所入場券」を渡し、順路に沿って、投票用紙を受け取り、自分で考えた立候補者の名前を書き投票箱に投票用紙を入れました。これで終わりと思っていたら、また、投票用紙を渡され戸惑いました。政党名もしくは立候補者名を書いて投票するというのを、この日、初めて知りました。そのため、その場で、これまでの知識をフル回転させ、じっくりと考えて投票しました。

私は、今日、生まれて初めて選挙を経験していくつかのことに気づきました。まず1つは、知識としてなんとなく知っているだけでは、あまり役に立たないということです。自分が実際に体験して、初めて自分の知識が不足しているということに気づきました。学校で習っていることも、自分で実際にそれを使ってみることで役に立つのだと実感することに気づきました。逆に考えると、現在、何のために勉強しているのか分からないような知識でも、いつ、どこかで役に立つのかもしれないと考えるようになりました。まだ、政治に関わるというような知識を充分持っていないかもしれませんが、このことに気づけたのは良かったと思いました。今後、もっと社会のことを勉強するとともに、様々なことを経験し、さらには、グローバルな視野も身に付けていきたいと思っています。

もう1つは、政治・社会へ参加する事の意義を学びました。投票することで、政治に参加することの重要性を感じました。そして、今後は、積極的に社会参加を行い、日本国民として、私たち一人ひとりがこれからの日本の社会を作っていくという意識を持って、行動していきたいと思っています。